



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月12日

上場会社名 株式会社あじかん 上場取引所 東・大
 コード番号 2907 URL http://www.ahjikan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中谷 登
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 業務推進本部長 (氏名) 樋口 研治 TEL 082-277-7010
 兼 経営管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	27,051	1.7	844	55.1	909	99.0	502	149.3
24年3月期第3四半期	26,587	4.0	544	△32.2	456	△26.6	201	△27.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 509百万円 (251.9%) 24年3月期第3四半期 144百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	65.99	—
24年3月期第3四半期	26.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	18,275	9,218	50.4	1,211.17
24年3月期	17,425	8,800	50.5	1,156.25

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 9,218百万円 24年3月期 8,800百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				14.00	14.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 25年3月期期末配当金の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,200	2.7	720	△2.3	770	4.2	370	8.5	48.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、[添付資料] 3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期3Q	7,700,000株	24年3月期	7,700,000株
25年3月期3Q	88,961株	24年3月期	88,861株
25年3月期3Q	7,611,061株	24年3月期3Q	7,611,277株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、[添付資料] 3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) その他の注記事項	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などを背景に、緩やかながら回復の傾向も見られるなか、平成24年12月の衆議院議員総選挙を契機に、為替や株式市場にも明るい兆しが見られるようになりました。しかしながら、欧州債務危機や海外経済の低迷など、国内経済に与える影響は依然として厳しく、先行不透明感を払拭できない状況で推移いたしました。

食品業界におきましても消費者の節約志向は依然として強く、同業他社との低価格競争が激しさを増す一方で、高止まりする原油・穀物価格などが企業収益を圧迫する厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは第9次中期経営計画をスタートさせ、変化の激しい時代に対応するため、第一に「商品の研究開発と技術開発の強化」、第二に「営業基盤の拡充と市場開拓」、第三に「利益構造の改善」、第四に「全社供給体制の強化と効率化」、第五に「経営効率・経営品質の向上」を重点施策とした取り組みを展開しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は27,051百万円（前年同四半期比1.7%増加）、営業利益は844百万円（前年同四半期比55.1%増加）、経常利益は909百万円（前年同四半期比99.0%増加）となり、四半期純利益は502百万円（前年同四半期比149.3%増加）となりました。

なお、セグメント別では、営業部門におきましては西日本エリアでのスーパー向け需要が減少するなど、厳しい状況もありましたが、特に東日本エリアにおいてコンビニエンスストアやスーパーマーケット、弁当店を中心に厚焼玉子などの玉子製品や野菜加工品の需要が増加し、売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。また、平成22年12月に新規事業の一環として立ち上げた「ごぼう茶」につきましても各種イベントや広報活動を積極的に行った結果、通信販売を中心に売上が拡大し、売上・利益とも当初予想を大きく上回る状況で推移いたしました。

他方、生産部門におきましては、原油価格や穀物価格の高止まりに起因した副材料・補助材料費の上昇による製造原価の上昇要因はありましたが、当社グループの主要原材料である鶏卵価格が需給の関係から比較的安価に推移したことに加え、省エネ活動などによる変動費の抑制、また、自社製造製品の売上拡大に伴う生産稼働率の向上などにより、製造原価率は前年同四半期を大きく下回る結果となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ850百万円増加し18,275百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ921百万円増加し10,797百万円となりました。主な増減要因は、繁忙期の売上高増加による受取手形及び売掛金の増加782百万円、販売政策に伴う商品及び製品の増加392百万円、原材料の備蓄に伴う原材料及び貯蔵品の増加134百万円、現金及び預金の減少389百万円などです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ71百万円減少し7,478百万円となりました。これは生産設備を中心とした固定資産の取得による増加要因はあったものの、減価償却の進行などが主な減少要因となったためです。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ432百万円増加し9,057百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ728百万円増加し8,125百万円となりました。主な増減要因は、繁忙期の仕入高増加による支払手形及び買掛金の増加1,192百万円、約定返済による短期借入金の減少215百万円、賞与引当金の減少110百万円などです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ296百万円減少し931百万円となりました。主な減少要因は、長期借入金の減少270百万円などです。

なお、当第3四半期連結会計期間末の借入金残高は、前連結会計年度末に比べ485百万円減少し3,070百万円となっております。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ417百万円増加し9,218百万円となりました。主な増減要因は、四半期純利益の計上による増加502百万円、剰余金の配当による減少91百万円などです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.1ポイント減少し50.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、概ね当初予想どおりに推移しておりますが、利益面につきましては、主に当社グループの主要原材料である鶏卵価格が当初見込み以下で推移したことや、想定以上の円高による外貨建て輸入品の仕入原価低減などにより、当初予想を大きく上回る結果となりました。しかしながら平成24年12月以降につきましては、当該環境は反転し、鶏卵価格の上昇や、急速な円安による外貨建て輸入品の仕入原価上昇など、経営を取り巻く環境が厳しくなっているため、現時点において平成24年5月14日に公表いたしました通期の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、新規設立により株式会社あじかんアグリファームを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,539,402	1,149,481
受取手形及び売掛金	* 5,420,804	* 6,203,682
商品及び製品	1,867,695	2,260,635
仕掛品	7,489	2,232
原材料及び貯蔵品	741,869	876,099
繰延税金資産	135,624	89,771
その他	182,882	232,105
貸倒引当金	△19,894	△16,624
流動資産合計	9,875,874	10,797,383
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,641,612	1,559,015
機械装置及び運搬具（純額）	954,220	999,037
土地	2,957,295	2,957,295
リース資産（純額）	58,621	66,498
その他（純額）	223,989	220,995
有形固定資産合計	5,835,739	5,802,842
無形固定資産		
リース資産	57,556	55,834
ソフトウェア	150,632	109,503
その他	24,703	24,316
無形固定資産合計	232,892	189,655
投資その他の資産		
投資有価証券	550,071	549,510
繰延税金資産	84,194	77,198
その他	864,288	876,949
貸倒引当金	△17,708	△17,954
投資その他の資産合計	1,480,845	1,485,704
固定資産合計	7,549,477	7,478,202
資産合計	17,425,352	18,275,585

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	* 2,627,536	* 3,820,064
短期借入金	2,978,700	2,763,637
未払法人税等	218,315	167,408
賞与引当金	266,000	156,000
役員賞与引当金	26,046	22,657
リース債務	79,485	74,698
その他	1,200,927	1,121,273
流動負債合計	7,397,012	8,125,738
固定負債		
長期借入金	577,400	307,000
退職給付引当金	149,040	125,022
役員退職慰労引当金	306,516	324,235
資産除去債務	43,454	43,884
リース債務	151,569	129,919
その他	—	1,500
固定負債合計	1,227,981	931,562
負債合計	8,624,993	9,057,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,250	1,102,250
資本剰余金	1,098,990	1,098,990
利益剰余金	6,756,739	7,167,674
自己株式	△64,219	△64,300
株主資本合計	8,893,759	9,304,614
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37,758	42,884
為替換算調整勘定	△131,158	△129,213
その他の包括利益累計額合計	△93,400	△86,329
純資産合計	8,800,359	9,218,284
負債純資産合計	17,425,352	18,275,585

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	26,587,580	27,051,654
売上原価	20,351,155	20,280,875
売上総利益	6,236,425	6,770,778
販売費及び一般管理費	5,691,673	5,925,833
営業利益	544,751	844,945
営業外収益		
受取利息	1,575	1,082
受取配当金	8,251	9,242
通貨スワップ評価益	24,199	41,314
長期為替予約評価益	—	80,003
持分法による投資利益	8,699	3,967
その他	10,463	15,987
営業外収益合計	53,189	151,597
営業外費用		
支払利息	24,951	24,004
為替差損	83,490	59,924
長期為替予約評価損	29,641	—
その他	3,002	3,455
営業外費用合計	141,085	87,384
経常利益	456,855	909,158
特別利益		
投資有価証券売却益	—	895
特別利益合計	—	895
特別損失		
固定資産除却損	2,842	8,139
投資有価証券評価損	3,550	—
特別損失合計	6,392	8,139
税金等調整前四半期純利益	450,463	901,914
法人税、住民税及び事業税	168,794	349,827
法人税等調整額	80,201	49,818
法人税等合計	248,995	399,645
少数株主損益調整前四半期純利益	201,467	502,268
四半期純利益	201,467	502,268

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	201,467	502,268
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,736	5,126
為替換算調整勘定	△15,436	1,038
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,563	906
その他の包括利益合計	△56,737	7,071
四半期包括利益	144,730	509,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	144,730	509,340

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	26,587,580	—	26,587,580	—	26,587,580
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	2,300	7,297,487	7,299,787	△7,299,787	—
計	26,589,880	7,297,487	33,887,367	△7,299,787	26,587,580
セグメント利益	1,953,442	195,068	2,148,510	△1,603,759	544,751

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,603,759千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,577,283千円及びたな卸資産の調整額△23,430千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	営業部門	生産部門			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	27,051,654	—	27,051,654	—	27,051,654
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	542	7,839,447	7,839,989	△7,839,989	—
計	27,052,196	7,839,447	34,891,643	△7,839,989	27,051,654
セグメント利益	1,942,071	426,395	2,368,466	△1,523,521	844,945

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,523,521千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,538,716千円及びたな卸資産の調整額30,131千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) その他の注記事項

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
受取手形	18,240千円	6,798千円
支払手形	133,205	171,519

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
減価償却費	497,388千円	413,758千円